

平成22年度 JOC 地域タレント研修会 開催のご案内

スポーツ振興基本計画に示されている通り、素質ある競技者を発掘し、育成することは、我が国の長期的国際競技力向上において極めて重要な、かつ不可欠な課題であり、JOCではその一助として現在11箇所の地域タレント発掘・育成事業を支援しています。

本研修会は、本会が支援している地域タレント発掘・育成事業受講生に、各種の情報・知識を提供し、スキル開発・向上のプログラムを通して、世界で活躍できるトップアスリートを目指す意識の醸成を図ること、また、中央競技団体の皆様に地域タレント発掘・育成事業についてのご理解を深めていただき、各競技団体におけるタレント発掘・育成の推進を図ることを目的として平成21年度第1回目を開催し、本年度が2回目となります。

ぜひ多くの競技団体の皆様にご見学・ご参加いただき、地域で育成されているタレント生たちの姿をご覧いただきたいと思えます。

1. 主 催 : 財団法人日本オリンピック委員会

2. 協 力 : 独立行政法人日本スポーツ振興センター(予定)

3. 内 容 : 平成23年1月15日(土)

9:00~10:00 スポーツ教育プログラム見学

10:00~12:00 担当者向けプログラム見学

13:00~18:00 チャレンジプログラム *別紙参照
(テスターとして子供たちの評価にご協力願います)

16日(日)

9:00~11:00 トレーニングプログラム見学

12:00~13:15 ランチセッション見学

(一部のみの参加も可能)

4. 場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター

5. 研修会受講対象者 : (1) 選 手 地域タレント発掘・育成事業受講生

(小学4年生~中学3年生

各事業から小学生6名中学生6名ずつを限度とする)

: (2) 指導者 地域タレント発掘・育成事業引率者

6. 中央競技団体参加対象者 : NTC専任コーチングディレクター、JOC専任コーチ、

タレント発掘・育成担当者、ジュニア/シニアコーチ、

事務局担当者ほか、中央競技団体から推薦のあった者。

7. 経 費 : 参加費用はすべて自己負担とする。

8. 申込方法 : 平成22年1月6日(木)までに所定の用紙により、E-mailにて

NTC拠点ネットワーク・情報戦略事業宛申込むものとする。

E-mail アドレス ntc-network@joc.or.jp

平成22年度地域タレント研修会プログラム(予定)

【平成23年1月14日(金)～16日(日) 2泊3日】

◇プログラム／第1日目 (1/14)

| 時間 | 内 容 | 時間 |
|----|--------------|----|
| 自由 | 各地域到着 チェックイン | — |

◇プログラム／第2日目 (1/15)

| 時間 | 内 容 | 時間 |
|-------|---|------|
| 7:00 | ■開会式・朝練習〔共用コート〕 | 60分 |
| 8:00 | 朝食〔SAKURA DINING〕 | 60分 |
| 9:00 | ■スポーツ教育プログラム〔アスリートヴィレッジ 小研修室1・2〕 久木留 毅 (JOC情報・医・科学専門委員会委員) | 60分 |
| 10:00 | ■スポーツ医科学体験及びトレーニング 見学〔JISS・味の素トレセン〕 協力：国立スポーツ科学センター (JISS) | 120分 |
| | ■担当者向けプログラム 山下修平 (JISS情報研究部研究員) 「日本におけるTIDを考える」 | |
| 12:00 | 昼食〔SAKURA DINING〕 | 60分 |
| 13:00 | ■チャレンジプログラム〔共用コート〕 様々な種目の識別プログラムに沿った各種テストにチャレンジし、 種目適性及び実力を確かめる 協力：JOC科学サポート部会 | 300分 |
| 18:00 | | |
| 18:30 | ■交流パーティー〔アスリートヴィレッジ 小研修室1・2〕 協力：JOCアスリート委員会・キャリアアカデミー | 150分 |
| 21:00 | | |
| 21:30 | ■担当者向けプログラム〔アスリートヴィレッジ ミーティング室3〕 山下修平 (JISS情報研究部研究員) | 30分 |

◇プログラム／第3日目

| 時間 | 内 容 | 時間 |
|-------|---|------|
| 6:30 | ■トレーニング | 60分 |
| 7:30 | 朝食〔SAKURA DINING〕 | 90分 |
| 9:00 | ■トレーニングプログラム 基本トレーニング 小林敬和 (JOC専任コーチングディレクター (陸上競技)) | 135分 |
| 11:15 | ■写真撮影/移動/着替え | 45分 |
| 12:00 | ■ランチセッション〔研修室1・2〕 協力：JOCアスリート委員会 | 75分 |
| 13:15 | ■閉会式・コントロールテスト表彰式 解散〔研修室1・2〕 | 45分 |

チャレンジプログラムについて (1/15 13:00~18:00)

1. チャレンジプログラム概要

チャレンジプログラムとは？

チャレンジプログラムは、地域で発掘されたタレント（優れた能力を有する子ども）達が様々な運動種目や運動タイプのテスト（測定）に他県のライバル達と競い合いながらチャレンジをし、子ども達の種目適正を中央競技団体の指導者によって判定するためのプログラムである。

このチャレンジプログラムは、NTC コントロールテスト（5種目）を含んでいることから、参加した子ども達の基礎的な身体能力やトレーニング状況を評価できる。すなわち、現時点における体力的に優れている面、または劣っている面などを把握することができ、その後の体力、コーディネーション等のトレーニング内容を検討する材料となることも期待される。

チャレンジプログラムは、各中央競技団体の関係者が、地域のタレントを実際に見て、一般的な体力レベルおよび体力特性を把握し、将来の子ども達の可能性を見出すための機会を創出するものであり、チームジャパン一体となって国際競技力向上を目指すための一手段となることを目的とした取り組みである。

当日参加される競技団体指導者にはテスターとしてタレント生のプロフィールと評価シートが配布される。テスターはタレント生の動き等を見て、自競技における適正を評価し、シートに記入する。評価結果は地域タレント発掘・育成事業にフィードバックされ、今後の種目選択等に活用される。



2. チャレンジプログラム実施項目

昨年度（平成 21 年度）テスト項目は以下の 16 項目である。種目については任意の競技団体指導者にヒアリングを行い、種目適性を見る上で有効と考えられる種目に決定した。今年度の種目については現在検討中であるため、種目の要望等については 12 月 20 日までに連絡があった場合検討対象とする。

連絡先：ntc-network@joc.or.jp 拠点ネットワーク・情報戦略事業

- (1) 反復横とび（NTC コントロールテスト）
- (2) 立ち幅とび（NTC コントロールテスト）
- (3) 上体起こし（NTC コントロールテスト）
- (4) ステッピングテスト
- (5) 足裏 3 点支持バランス
- (6) 30m（5m）走（NTC コントロールテスト）
- (7) 最高到達点
- (8) ハイジャンプステップ
- (9) タッチゲーム
- (10) 15m ホッピング
- (11) バランステスト
- (12) ステップワークテスト
- (13) バー挙上テスト
- (14) メディシンボール投げ（前投げ左右、後ろ投げ左右）
- (15) 長座ハンドボールスロー
- (16) 20m シャトルラン（NTC コントロールテスト）



平成 22 年度 JOC 地域タレント研修会プログラム参加申込書

1. 参加の有無 参加 ・ 不参加

(どちらかを○で囲んでください)

2. 参加の場合

| 氏名 | 競技団体役職／ご担当 | 参加日 (○印を記載) | | |
|----|------------|-------------|------|------|
| | | 1/15 | | 1/16 |
| | | 研修 | テスター | 研修 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

☆4名以上の場合コピーしてお使いください

平成 年 月 日

競技団体名: _____

記載者名: _____

締め切り: 1月6日(木)

お申し込み先: JOC 拠点ネットワーク・情報戦略事業

e-mail: ntc-network@joc.or.jp